

# 県立多治見病院 緩和ケアチーム通信

発行：県立多治見病院 緩和ケアチーム 2017年 2月号 VOL.71



文責：桜井由美子 編集：櫻田亜矢子

こんにちは。がん化学療法看護認定看護師の桜井です。今回は『アピアランスケア』についてお話します。化学療法の副作用である脱毛や皮膚障害は外見の変化をもたらし、患者さんに心理的な苦痛やQOLの低下をもたらすことがあります。抗がん薬の種類によって、脱毛を起こす薬剤や起こりにくい薬剤があります。また顔や体にニキビのような皮疹ができたり、爪の変化や皮膚の色素沈着を起こす種類の抗がん薬もあります。どちらも外見に変化が起こるため、「私じゃないみたい」「今までの自分と違う」「自分が大切にしていた部分が失われてしまった」「周りの人はどう思うだろうか」など、今までのような対等な人間関係でいられないのではないかという不安や、喪失感、戸惑いといった問題が生じると言われています。医療者はこのような患者さんの思いに寄り添い、不安を和らげ、自分らしい人生を送ることや社会とのつながりをサポートすることが必要といわれています。そのようなサポートを『アピアランスケア』と言います。患者さんの人間関係や就労状況、経済的な事情、外見に対する思いなど、患者さんの状況を把握するところから始まります。化学療法を受けておられる患者さんが、少しでも自分らしく治療が続けていけるように化学療法センターのスタッフと共にサポートしていきたいと思っています。

## 第6回 緩和ケア勉強会のご報告

2月2日(木)に開催されました第6回緩和ケア勉強会には、院内18名、院外35名、合計53名の方にご参加いただきました。河上クリニックの鷺津先生、なでしこ訪問看護ステーションの齋藤さんより、在宅での経過や本人・家族の思いを聞くことができ、学びの多い勉強会となりました。



## 第2回 緩和ケア講演会のご案内

日時：平成29年3月9日(木) 18:00~19:30

場所：中央診療棟3階 講堂

内容：がんの親を持つ子どもへの支援

小児科でのチャイルド・ライフ・スペシャリストの支援～事例も交えて～

講師：名古屋大学医学部附属病院 チャイルド・ライフ・スペシャリスト 佐々木美和先生

